

取扱説明書

Ver. 1.0

型番: GRND-TWS Y7

重低音完全ワイヤレスイヤホン



もくじ

ページ

| | |
|------------------|----|
| 安全上の注意 | 2 |
| 使用上の注意 | 4 |
| 各部の名称 | 4 |
| 充電のしかた | 5 |
| 使いかた | 6 |
| 使いかた(パソコンで使う) | 12 |
| 使いかた(オンライン会議で使う) | 14 |
| Bluetoothについて | 15 |
| お手入れ | 16 |
| 本商品の防水性能について | 16 |
| 故障かなと思ったら | 17 |
| リチウム電池のリサイクルについて | 18 |
| 商品仕様 | 19 |
| 抗菌使用について | 20 |

- この度は 重低音完全ワイヤレスイヤホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上の注意」、「充電のしかた」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見ることのできる場所に保管してください。

この商品は日本国外でのアフターサービスは出来ません。

No service is available outside of Japan.

安全上の注意 必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

■絶対に分解したり、改造しない



火災・感電の原因になります。

■火の中に投入したり、加熱しない



破裂による火災・けがの原因になります。

■水につけたり、水をかけない



感電・故障の原因になります。

■本商品内蔵の電池が液漏れした場合は直ちに使用を中止する



発火・炸裂の原因になります。

■本商品内蔵の電池の液が目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師に相談する



失明などの原因になります。

■本商品 やケーブルの充電用端子に液体やホコリなどが付着しないように清掃する



発熱・発火・やけどの原因になります。

■運転中は使用しない



自動車、オートバイ、自転車などの運転中はイヤホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対にお止めください。交通事故の原因になります。

■周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない



踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは周囲の音が聞こえないと危険です。事故やけがの原因になります。

■異常・故障時は直ちに使用を中止する



液漏・発火・炸裂の原因になります。

■雷が鳴り出したら、本体やUSBケーブルに触れない



感電の原因になります。

■充電中の異常(充電しない、以前より熱くなる、本体が変形したなど)発生時は直ちに使用を中止する




直ちに使用を中止し、ゲオお客様サポートセンターにご連絡ください。


安全上の注意 必ず守ること

注意


- 本商品に強い衝撃や圧力を加えない

 液漏・発火・炸裂の原因になります。


- 油煙、湯気、湿度、ホコリの多い場所で使用しない

 火災・感電・故障の原因になります。


- 医療機器の近くで使用しない

 電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。


- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

 電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。


- 航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う

 電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。


- 大音量で長時間連続使用しない

 聴力障害などの原因になることがあります。


- 使用開始時はボリュームを下げから装着する

 突然大きな音が出て、耳をいためる原因になります。


- 商品仕様の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は、充電を中止する

 液漏・発火・炸裂の原因になります。


- 直射日光が強いところ、炎天下の車内での使用や保管をしない

 破損・発熱の原因になります。


- 本商品を温度の高くなるストーブ・コンロなどの近くに置かない

 液漏・本体の変形の原因、寿命が短くなることがあります。


- 小さなお子様の手の届かないところに保管する

 誤飲など思わぬ事故をまねくことがあります。


- USBケーブルを抜くときはケーブルを持たずに必ずプラグを持って引き抜く

 ケーブルを持って抜くと断線や故障の原因になります。


- 充電中は、本商品および充電ケーブルの周りに物を置かない

 感電・ショートの原因になります。

- 充電ケースを他の商品に使用しない、イヤホン以外のものを入れない

 感電・火災・ショート・故障の原因になります。

- イヤホンおよび充電ケースにキャッシュカードなどの磁気カードを近づけない

 本商品に内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれる可能性があります。

使用上の注意

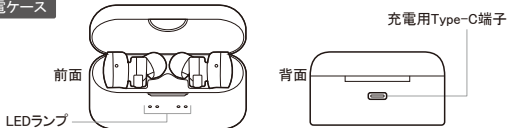
- 本商品の使用に関して、お使いの機器のメモリー内容が消去されても保証は一切いたしません。あらかじめご了承ください。
- 補聴器、ペースメーカー、その他の医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器に影響を与えるおそれがあります。誤動作による故障や事故の原因になりますので、本商品をそれらの近くでは使用しないでください。
- 交通機関や公共の場所では音量に注意し、周りの方の迷惑にならないようにしてください。
- 本商品の使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- 本書に記載されている使用方法以外でのご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本商品を使用せず、長期間保管した場合、バッテリー性能は低下します。何回か充電を繰り返すと回復する場合があります。
- 本商品は国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため、本商品を使用した場合、罰せられることがあります。

各部の名称

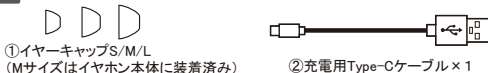
イヤホン本体



充電ケース



付属品



充電のしかた

初めてお使いになる前に本商品を満充電してからご使用ください。

イヤホンの充電

電池容量が低下するとイヤホンのLEDランプがゆっくりと赤色に点滅して警告音が1分おきに聞こえますので、イヤホンを充電ケースへ収納して充電してください。

充電中は充電ケース内のイヤホンのLEDランプが赤色に点灯し、充電ケースのLEDランプが白色に点灯します。イヤホンが満充電になるとイヤホンのLEDランプが消灯し、イヤホンのLEDランプ消灯後に充電ケースのLEDランプも消灯します。

※イヤホンがケースにしっかりと収納されていることを確認してください。イヤホンを充電ケースにセットして、イヤホンのLEDランプが赤色に点灯したらイヤホンの充電を開始します。

※各種機能の設定や使用条件により、左側と右側とでイヤホンのバッテリーの消費の速さが異なる場合があります。そのため、左側と右側のイヤホンのバッテリーの消耗時間・充電時間が異なる場合がありますが、異常ではありません。

※汚れがひどい場合は、アルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

※上記の内容はイヤホン本体の充電に関する内容であり、ケースを充電しているときの内容ではございません。

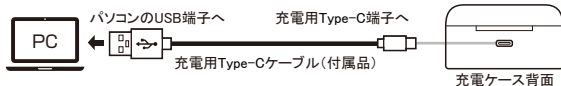
充電ケースの充電

イヤホンを充電ケースへ収納したときに充電ケースのLEDランプが点灯しない場合は、充電ケースのバッテリー残量がありません。充電ケースを充電してください。

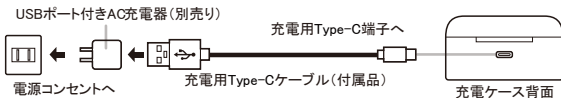
※ケーブルおよびイヤホンの充電端子(P.4「各部の名称」を参照)が汚れていると、充電できない場合があります。充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。

パソコンと接続して充電する場合

※USB規格に適合したパソコンについているUSBポートと付属のType-Cケーブルを使用して充電してください。



電源コンセントと接続して充電する場合























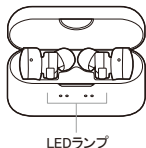
充電のしかた

充電ケースの充電(続き)

満充電になると、4つのLEDランプが白色に点灯します。満充電には約2～3時間かかります。

●充電ケース電池残量の見方(目安)

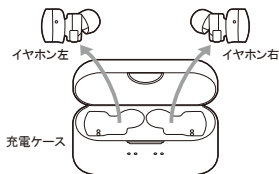
| | | | | |
|---|---|---|---|--------------------------------------|
|  |  |  |  | Aが白色に点滅 バッテリー残量 0～24% |
|  |  |  |  | Aが白色に点灯、Bが白色に点滅 バッテリー残量25～49% |
|  |  |  |  | A、Bが白色に点灯、Cが白色に点滅 バッテリー残量50～74% |
|  |  |  |  | A、B、Cが白色に点灯、Dが白色に点滅 バッテリー残量75～99% |
|  |  |  |  | A、B、C、D全灯 バッテリー残量100% |



使いかた

イヤホンを取り出す

イヤホンは充電ケースにマグネットで固定されています。
イヤホンをつまみ上げて取り出してください。



ペアリング

本商品とBluetooth機器を接続する行為をペアリングといいます。

①充電ケースからイヤホンを取り出すと、左右いずれかのイヤホンのLEDランプが赤色と白色交互に点滅して自動的にオンになり、左右のペアリングが完了すると、もう一方のイヤホンのLEDランプが消灯から白色の点滅に変わります。

※本操作前にイヤホンの電源が入っていた場合、一旦電源を切ってから、本操作を行ってください。

②Bluetooth機器(接続する機器)にてペアリングのための操作を行います。Bluetooth機器側で本機を検出した場合、“TWS Y7”の名称で表示されます。

使いかた

ペアリング

＜iPhoneとの接続例＞

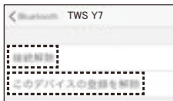
※機種やOSのバージョンによって設定方法は異なります。



- ① iPhoneの画面にある「設定」を選択します。 ② 「設定」内の「Bluetooth」をタッチします。



- ③ 「Bluetooth」の「オフ」の部分タッチまたはスライドさせて「オン」にします。
- ④ 検出されたBluetooth機器がリストに表示されますので、その中から「TWS Y7」を選択します。
- ⑤ ペアリングが完了すると効果音が流れ、イヤホンの左右のLEDランプが白色の点滅に変わります。
- 2回目以降のご使用では、電源を入れると最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされます。電源を切るとBluetooth接続は解除されます。



- ⑥ Bluetooth接続を解除したり、登録を削除したい場合は、デバイス名の右をタップして次の画面でいずれかを選択します。Bluetooth接続を解除すると効果音が流れ、イヤホンの左右いずれかのLEDランプが赤色と白色交互に点滅します。

使いかた

ペアリング(続き)

＜Androidスマートフォンとの接続例＞

※機種やOSのバージョンによって設定方法は異なります。

- ①スマートフォンの画面にある「設定」を選択します。
- ②「設定」内の「機器接続」を選択します。
- ③「機器接続」内の「新しい機器とペア設定する」を選択します。
- ④検出されたBluetooth機器がリストに表示されますので、その中から“TWS Y7”を選択します。
- ⑤ペアリングが完了するとイヤホンから効果音が流れ、イヤホンの左右のLEDランプが白色の点滅に変わります。2回目以降のご使用では、電源を入れると最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされます。電源を切るとBluetooth接続は解除されます。

※Android端末でデバイス一覧に“TWS Y7”がない場合は、スキャンをタップしてください。

※接続がうまくいかなかった場合は、スマートフォンのBluetooth接続を解除して、最初からやり直してください。Bluetooth接続を解除すると効果音が流れ、イヤホンの左右いずれかのLEDランプが赤色と白色交互に点滅します。

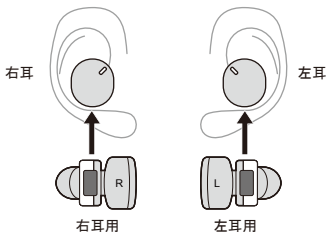
※ペアリングしていない状態でイヤホンを充電ケースに戻さずに約3分間使用しないと、自動的に電源オフになります。

※2回目以降のご使用では、イヤホンを充電ケースから取り出すと、最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされます。

イヤホンの装着

耳のくぼみにあわせて軽く回して装着します。

- 頭を軽く振ってみて、しっかり装着されたかを確認してください。しっかり装着しないと耳から外れて脱落や紛失のおそれがありますので、ご注意ください。
- 左右を間違えないように装着してください。
- イヤーキャップのサイズが合わない場合は、付属の他のサイズに交換してください。



使いかた

片耳で使う

- ①充電ケースからイヤホンを取り出すとイヤホンの電源が自動的にオンになり、左右がペアリングされます。
 - ②スマートフォンの設定からBluetoothを立ち上げます。
 - ③検索されたデバイスから、“TWS Y7”をタップしてください。
 - ④接続されると左右のイヤホンのLEDランプが白色に点滅します。
- ※初めてお使いになるのが片耳の場合、Bluetoothの接続に時間がかかる場合があります。
- ※両耳でペアリング、Bluetooth接続をした後に片耳で使用する場合、②～④の設定は、必要ありません。
- ※左右いずれかのイヤホンを片側使用中に、もう一方のイヤホンをケースから取り出すと自動的にペアリングされ、両方から音が聞こえるようになります。
- ※2つのイヤホンが同じBluetoothの通信範囲内にあれば、ペアリングが優先されますが、通信範囲外であれば、それぞれのイヤホンは別々のBluetoothデバイスと接続して単独で使用することができます。

電源を入れる

イヤホンの電源を入れるには2つの方法があります。

方法1: イヤホンが充電ケースに入っている場合は、イヤホンを取り出すと自動的に電源がオンになります。

方法2: イヤホンが電源オフの状態で充電ケースの外にある場合は、左右それぞれのタッチセンサーを約3秒長押しすると電源がオンになります。

電源を切る

イヤホンの電源を切るには2つの方法があります。

方法1: イヤホンを充電ケースに収納します。

方法2: イヤホンが電源オンの状態で充電ケースの外にある場合は、左右いずれかのタッチセンサーを約6秒長押しすると電源がオフになります。

着信応答

着信時に左右いずれかのイヤホンのタッチセンサーを1回タップすると着信に応答できます。通話を終了する場合は左右いずれかのイヤホンのタッチセンサーを1回タップします。

着信拒否

着信時に左右いずれかのイヤホンのタッチセンサーを約2秒長押しします。

使いかた

再生/一時停止

音楽再生中に左右いずれかのイヤホンのタッチセンサーを1回タップすると一時停止します。一時停止中に左右いずれかのイヤホンのタッチセンサーを1回タップすると一時停止が解除され、再生を開始します。

曲送り/曲戻し

音楽再生中に右イヤホンのタッチセンサーを3回タップすると曲送りします。

音楽再生中に左イヤホンのタッチセンサーを3回タップすると曲戻しします。

※使用するデバイスのOSやアプリによっては、曲戻しすると1つ前の曲ではなく、曲の頭に
戻る場合があります。

音量調整

右イヤホンのタッチセンサーを2回タップすると音量が大きくなります。

左イヤホンのタッチセンサーを2回タップすると音量が小さくなります。

重低音モード

重低音モードでは、低音を強調した音楽を楽しむことができます。初期設定は重低音モードに設定されています。左右いずれかのイヤホンのタッチセンサーを約3秒長押しすると、短めの効果音が聞こえてタッチセンサーから手を離すと、再度短めの効果音が鳴り通常モードに切り替わります。もう1度約3秒長押しすると、短めの効果音が聞こえてタッチセンサーから手を離すと、長めの効果音が鳴り重低音モードに戻ります。

音声アシスタント

左右いずれかのイヤホンのタッチセンサーを4回タップすると音声アシスタント(Siriなど)が立ち上がりますので、音声指示してください。音声指示せずにしばらく経過すると元のモードに戻ります。

リセットする

接続がうまくいかない場合や初期状態に戻したい場合には、

左右いずれかのイヤホンのタッチセンサーを6回タップするとイヤホンをリセットします。

その他の機能

音楽再生中にBluetooth通信可能範囲外に出て接続が切断されると、信号音が聞こえます。

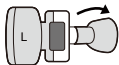
3分以内に範囲内に戻ると信号音が聞こえ、自動的にBluetooth接続を復旧します。

スマートフォンの音楽再生をタップするか、イヤホンのタッチセンサーを1回タップすると再生が再開されます。

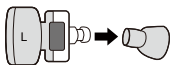
使いかた

イヤークャップの交換

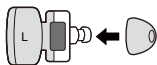
- 本商品には3種類(S/M/L)のイヤークャップが付属しています。耳に合ったサイズを選んでご使用ください。最初に本体にはMサイズが装着されています。
- 左右の耳の穴のサイズは人によって異なることがあります。周囲の音が最も聞こえにくくなるイヤークャップを左右それぞれ選んでください。
- イヤークャップが確実に固定されていないと、使用中に外れて耳の中に残る場合があります。確実に固定されていることを確認してください。



①裏返す



②外す



③装着する

使いかた(パソコンで使う)

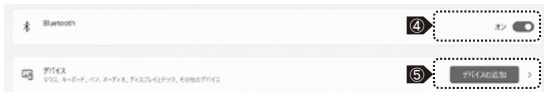
パソコンで使う

Windows 11の場合

- ① 充電ケースからイヤホンを取り出すと、左右いずれかのイヤホンのLEDランプが赤色と白色交互に点滅して自動的にオンになり、左右のペアリングが完了すると、もう一方のイヤホンのLEDランプが消灯から白色の点滅に変わります。
- ② パソコン画面のスタートメニューを右クリックし、「設定」をクリックします。
- ③ パソコン画面の左側のメニューより「Bluetoothとデバイス」をクリックします。



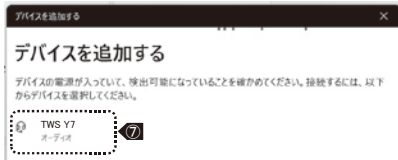
- ④ 「Bluetooth」項目の設定を「オン」にしてBluetoothを有効化します。



- ⑤ 「デバイスの追加」をクリックします。
- ⑥ 「デバイスを追加する」の画面が表示されるので、「Bluetooth」をクリックします。



- ⑦ 「TWS Y7」をクリックします。



使いかた(パソコンで使う)

⑧接続が完了すると、パソコンに右の画面が表示されますので、「完了」をクリックしてください。

※3分以内に接続を完了してください。

※3分以上経過してしまった場合や接続がうまくいかなかった場合は、最初からやり直してください。

※“TWS Y7”の下に「接続されているマイク、オーディオ」と表示されていることを確認してください。「接続されているオーディオ」の場合はマイクが認識されていませんので、接続をやり直してください。



⑨音が出ない場合は、パソコンのスピーカーの設定を調整します。

パソコンのスタートメニューから「設定」→「システム」→「サウンド」をクリックします。出力で“TWS Y7”を選択します。

⑩必要に応じてボリュームをスライドさせて調整します。



使いかた(オンライン会議で使う)

オンライン会議で使う

Skypeの場合

「設定」→「音声/ビデオ」と選択して、マイクとスピーカーを“TWS Y7”に設定してください。
必要に応じてマイクとスピーカーの音量をスライドさせて調整してください。



Google Meetの場合

「設定」→「音声」と選択して、マイクとスピーカーを“TWS Y7”に設定してください。



使いかた(オンライン会議で使う)

Zoomの場合

「設定」→「オーディオ」と選択して、マイクとスピーカーを“TWS Y7”に設定してください。
必要に応じてスピーカーとマイクの音量をスライドさせて調整してください。



Bluetoothについて

- Bluetooth通信の通信範囲は約10mですが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合は、無線LAN機器の電源を切るか、10m以上離れた場所でご使用ください。
- Bluetooth対応商品の音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続した場合、音楽や音声が入り替わることがあります。
- 本商品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証するものではありません。
- 本商品は電波法に基づく技術基準に適合していますので、無線局の免許は不要です。ただし、本商品を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本商品での再生が遅れるため動画視聴時やゲームでのご使用の場合、映像と音声が入り替わることがあります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるまで時間がかかることがあります。

お手入れ

イヤホン・充電ケース

汗や水が付着したままにしておくと、充電ができなくなる原因となりますので、ご使用後は速やかにふき取ってください。

- お手入れには、乾いた布か、水に浸した柔らかい布をよく絞ってお使いください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤・洗剤を使用しないでください。
- 本商品を水や石けんで洗わないでください。
- 充電ケースおよびイヤホンの充電端子(P.4「各部の名称」を参照)が汚れていると、充電できない場合があります。充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。
- 充電端子の汚れがひどい場合は、アルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。
- 本商品のプラグやポートにホコリなどがたまらないように定期的にお手入れしてください。ホコリがたまるとショートして発煙、発熱の原因になるおそれがあります。

イヤークャップ

- イヤホンからキャップを外し、薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてから取り付けてください。

本商品の防水性能について

イヤホン本体

本商品のイヤホン本体は、防水規格IPX4相当の仕様となっています。いかなる方向からの水の直接飛沫によっても有害な影響を受けません。防水性能は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。

- 完全防水ではありませんので、水中では使用しないでください。
- 故意に流水を浴びせたり、水没させないでください。
- 本商品を水や石けんで洗わないでください。
- お風呂やシャワーでの使用は推奨しておりません。
- イヤホンについた汗、雨水、海水などをよくふき取ってください。
- お客様の誤った取り扱いにより水の侵入で故障した場合は保証対象外となります。

充電ケース・充電用ケーブル

本商品に付属する充電ケースおよび充電ケーブル類は防水仕様ではありません。

- 水がかかる恐れがある場所で使用しないでください。

故障かなと思ったら

電源が入らない

- イヤホンのバッテリー残量が低下しています。充電ケースにセットして充電してください。
- 充電ケースのバッテリー残量がない場合は、イヤホンを入れた状態で充電ケースを充電してください。
- 本商品はオートパワーオフ機能を採用しております。ペアリングしていない状態で約3分ほど経つと自動的に電源がオフになります。

充電できない

- 充電ケースおよびイヤホンの充電端子(P.4「各部の名称」を参照)をご確認ください。
- 充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。汚れがひどい場合はアルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

Bluetooth機器とペアリング(登録)できない

- 接続するBluetooth機器側の機能が使用可能な状態であることを確認してください。
- 接続するBluetooth機器側が本商品のプロファイルに対応しているか確認してください。
- 本商品と接続している機器の電源を両方とも切り、機器情報(デバイス登録)を削除してから再度Bluetooth接続やペアリングを行なってください。
- リセット(P.10「リセットする」を参照)してから、ペアリングをやり直してください。
- 接続するBluetooth機器と本商品をなるべく近づけて登録してください。
- 近くに別のBluetooth機器がある時は、別のBluetooth機器の電源を切るか、その機器から離れた場所で登録してください。
- ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合があります。再度設定しなおしてください。

音が途切れる、または音質が劣る

- 接続するBluetooth機器と本商品を近づけて使用してください。
- 接続するBluetooth機器と本商品の間にある障害物を避けてご使用ください。
- 他の無線機器、電子レンジなどの電波干渉機器が近くにある場合があります。干渉の元と思われる機器から離れて使用してください。

発信時に本商品が使えない

- 携帯電話から発信した後に、スピーカー／マイクを本体から本商品へ切替え操作が必要です。操作方法は、携帯電話の説明書をお読みください。

故障かなと思ったら

通話できない

- 接続するBluetooth機器とイヤホンの電源を入れてください。
- 再度ペアリング(登録)をしてください。
- Bluetooth機器と本商品の音量を大きくして調節してください。

通話相手に自分の声が聞こえない

- 接続する機器がBluetooth機能を搭載し、HFPに対応している必要があります。ご使用の接続機器やソフトの環境により、マイク入力を手動で設定する必要がありますので、それぞれの設定をご確認ください。対応しない場合がございますので、ご了承ください。

音楽が再生できない

- 接続するBluetooth機器とイヤホンの電源を入れてください。
- 再度ペアリング(登録)をしてください。
- Bluetooth機器とイヤホンの音量を大きくして調節してください。Bluetooth機器側で音楽再生ができるかご確認ください。
- ファイルやWebサイトによってBluetoothでの再生をサポートしていない場合があります。
- スマートフォンの仕様により、ダウンロードした動画等の音声はBluetoothでは視聴できない場合があります。

リチウム電池のリサイクルについて



この商品にはリチウムイオン電池が使用されています。不要になりました電池は廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。希少資源を有効に活用するため、リサイクルにご協力ください。



詳細はここから

商品仕様

商品向上のため、商品仕様は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

| | | |
|---------------|---------------------|---|
| 商品仕様 | イヤホンタイプ | カナル型 |
| | イヤホン本体質量(片耳) | 約5.8g |
| | 使用温度範囲 / 湿度範囲 | 5~40°C / 25~85%(ただし結露なきこと) |
| | 抗菌仕様(イヤークリップ) | 抗菌効果99%抗菌コート加工 |
| ヘッドホン部 | ドライバー型式 | ダイナミックデュアル型 |
| | ドライバーサイズ | φ6mm |
| | 音圧感度 | 96dB |
| | 防水規格 | IPX4 |
| | インピーダンス | 16Ω |
| | 再生周波数帯域 | 20Hz~20kHz |
| マイクロホン部 | マイク感度 | -42dB |
| 通信仕様 | Bluetooth | Ver.5.3 |
| | 対応プロファイル | A2DP/AVRCP/HFP/SPP |
| | 対応コーデック | SBC / AAC |
| | 使用周波数帯域 | 2.4GHz 帯 |
| | 受信距離/ 送信出力 | 約10m/Class2 |
| ヘッドホン部 その他 | イヤホン本体バッテリー量(片耳) | 50mAh |
| | 連続音楽再生時間(※1) | 約7時間 |
| | 連続通話時間(※1) | 約5時間 |
| 充電仕様 | 充電電圧 | DC5V |
| | イヤホン本体充電時間 | 充電ケースでの充電:約1.5時間 (充電ケースが満充電の状態、最大3回まで充電可能) |
| | 充電ケース充電時間 | 約2.5時間 |
| | 充電ケース内蔵バッテリー量 | 500mAh |
| | 充電ケースサイズ(W x D x H) | 約75 x 26 x 41mm |
| | 充電ケース質量 | 約40.5g |
| | 充電ポート | Type-Cポート |

商品仕様

| | | |
|------|----------------------------------|--|
| 機能一覧 | 重低音モード | ○ |
| | ノイズキャンセリング | DSP(Digital signal processor) ENC(Environmental noise cancellation) |
| | 音声アシスタント | Googleアシスタント/Siri |
| | ハンズフリー機能 | ○ |
| | オート電源オン | ○ |
| | 自動ペアリング | 充電ケースからイヤホンを取り出すと自動的にペアリング |
| | 左右独立接続 | ○ |
| 付属品 | イヤークャップ S/M/L (Mサイズはイヤホン本体に装着済み) | |
| | 充電用Type-Cケーブル(約0.25m) | |
| | 取扱説明書兼保証書(保証期間:6ヶ月) | |

(※1)使用時間は50%音量の条件にて算出。接続するBluetooth機器との距離が長い場合など、消費電力が増加するために通話/再生時間が短くなる場合があります。

 210-218666 本商品は工事設計認証を受けています。

抗菌仕様について

本商品のイヤークャップは、抗菌効果99%の抗菌剤を使用し、抗菌コート加工をしてあります。この抗菌加工により、細菌の増殖を抑え、清潔なお使いいただけます。

注意:

- 抗菌とは商品の表面における細菌の増殖を抑える状態を示し、これにより感染などを完全に防止するものではありません。
- 抗菌性能を発揮させるために、商品の表面は清潔な状態を保ってください。